

## 第17回高松市中心市街地活性化協議会開催結果

- 日 時 平成26年2月17日(月) 10時から11時30分まで
- 場 所 高松商工会議所会館 4階 401会議室
- 出席者 委員15名・委員代理1名・オブザーバー8名・随行者4名・傍聴者1名
- 開催結果

植木会長が議長となり議事を進行した。



議題1 平成25年度認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告(案)について

高松市の担当職員から、まず、基本計画の認定を受けた市町村は、計画に掲げた目標を達成できるよう、取組の進捗状況や数値目標について、定期的にフォローアップを行い、国に報告することとされている旨の説明があった。

この後、本フォローアップに関する報告(案)について、平成25年度フォローアップ結果のポイント(概況、目標達成の見通しとその理由、今後の対策)及び目標毎のフォローアップ結果(調査結果の推移、主要事業の進捗状況及び事業効果、目標達成の見通し及び今後の対策)について、詳細に説明があった。

委員より、高松天満屋退店後の施設の有効利用、商店街における地元の次世代育成の取組み、本報告での通行量データの記載内容、再開発での効果がよりわかる指標の検討、商店街情報発信事業におけるインターネット上のPRの仕方、丸亀町の自転車乗入れ禁止に伴う通行量の状況と回遊性向上の取組み等につき質問等があった後、委員に諮ったところ、全員異議なく承認した。

次に、「多核連携型コンパクト・エコシティ推進用映像資料(プロモーション映像)」の視聴を行った。

なお、視聴に先立ち高松市の担当者から、当コンパクト・エコシティとは、人口減少、少子・超高齢社会が現実のものとなる中、30



年、50年後においても活力を失わず、市民がいきいきと暮らせる都市構造を意味し、この実現の指針となる「多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画」を平成25年2月に策定した。この計画において、本市では、17の集約拠点を設け、都市機能の集約化に取り組んでいる。その集約拠点の中心となるのが、中心市街地も含む広域交流拠点であり、四国の拠点都市にふさわしい広域的な拠点性の強化を目指していきたいと考えている旨の説明があった。